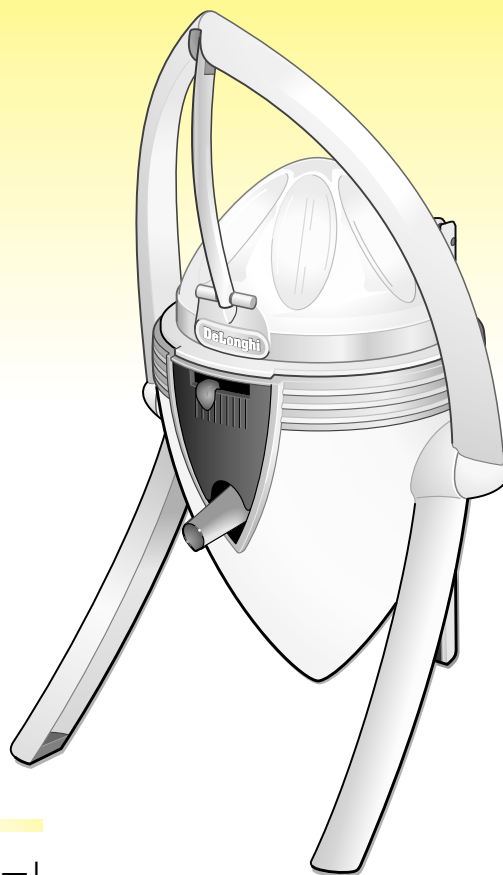




デロンギ シトラス・スクィーザー 型番**KSM3000J**

家庭用

取扱説明書



特長

- 果肉量の調整ができる「果肉量調整セレクター」
果肉量調整セレクターでジュースの中の果肉量をお好みで自在に調整できます。
- 効率的な「反転機能」付き
回転がランダムに変わる反転機能付きなので、ムダなく効率的にジュースをしぼることができます。
- 液だれを防ぐ「ドリップストッパー」付き
抽出口にグラスなどを置いて直接しぼることができます。抽出口を上げることで液だれを防ぎ、テーブルを汚しません。

このたびは、デロンギ シトラス・スクィーザー KSM3000Jをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

MADE IN CHINA

もくじ

安全上のご注意.....	1～2	ご使用方法	5～6
各部の名称とはたらき	3	お手入れのしかた.....	6
仕様.....	3	アフターサービスについて.....	裏表紙
本体の組み立て方法.....	4		

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の二つに分け、明示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

電源について

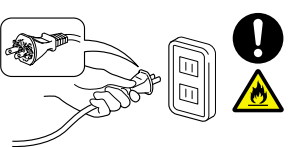


警告

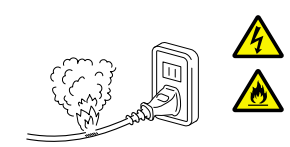
- ・電源は、家庭用交流100V 50／60Hzをご使用ください。
- ・濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。



- ・プラグに付いたホコリなどは、定期的に取り除いてください。ホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となります。

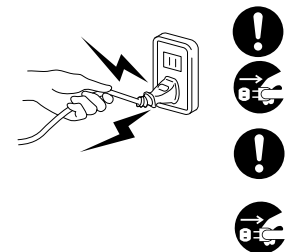


- ・破損した電源コード／プラグは、絶対に使用しないでください。
- ・上記のような場合や、使用中に電源コード／プラグが異常に熱くなる場合は、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

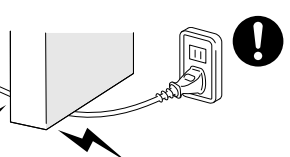


注意

- ・プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。
- ・使用時以外は、プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ・プラグを抜く前に、本体の電源（スイッチ）を切ってください。
- ・プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。



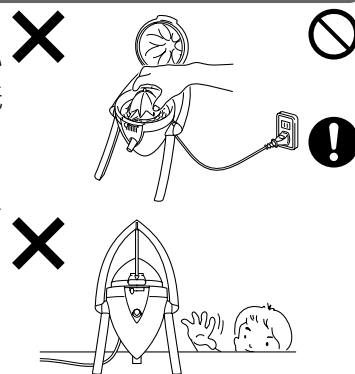
- ・電源コード／プラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷付けないように大切に扱ってください。
- ・電源コードを束ねた状態や本体に巻きつけた状態で使用しないでください。



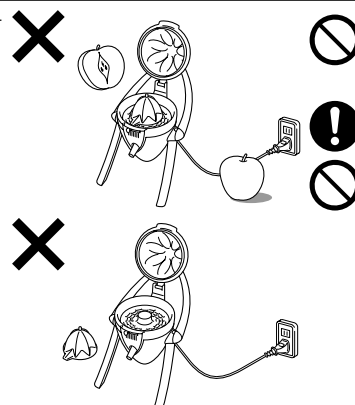
使用上の注意

⚠ 注意

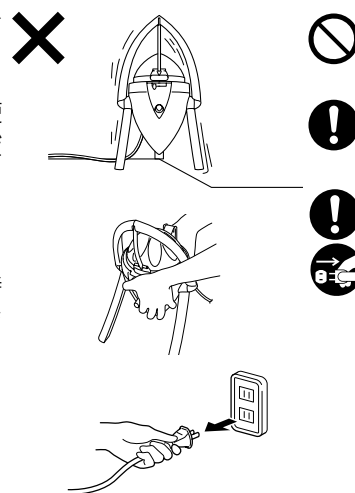
- ・素手でコーンを押すことは絶対にしないでください。
- ・万一異常が発生した場合は、直ちにプラグをコンセントから抜き、デロンギ・ジャパン サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。
- ・濡れた手、または湿った手で器具に触らないでください。
- ・使用中はその場を離れないでください。また、近くに小さなお子様やペットがいる場合も注意を払ってください。



- ・本製品は、かんきつ類のスqueezerですので、他の材料／用途で使わないでください。
- ・屋外や、水がかかったり湿気の多い場所、直火の近くでは、使わないでください。
- ・ご使用の際は、必ずコーンを取り付けてください。



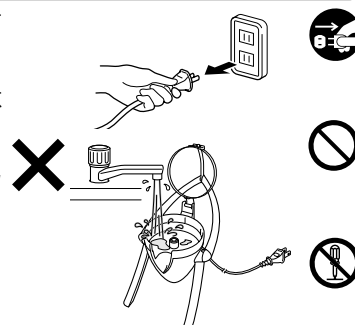
- ・幼児の手が届く所や不安定な場所で、使わないでください。
- ・1分（定格時間）以上の連続運転は、お止めください。使わないときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・本製品は家庭専用です。他の用途で使わないでください。
- ・持ち運びの際は、必ず本体を持ってください。レバーを持つと、トレイやジュース受け等が落下する可能性がありますのでご注意ください。



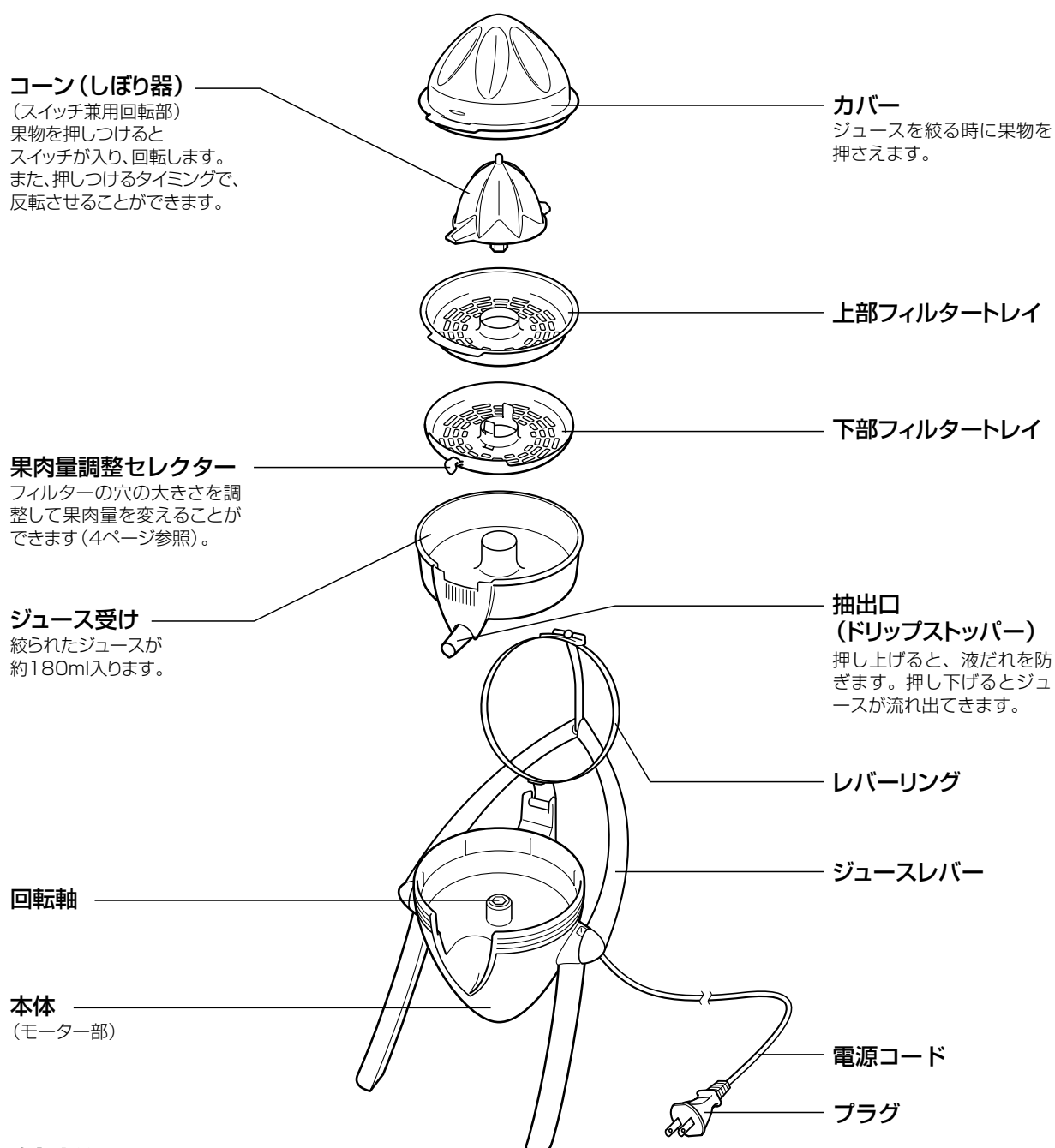
お手入れについて

⚠ 注意

- ・お手入れをする際は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体、電源コード／プラグは、水に浸けたり、水洗いしないでください。
- ・シンナーやベンジン、クレンザーや金だわし等は、使わないでください。
- ・ご自分で分解したり、修理／改造をしないでください。



各部の名称とはたらき



仕様

製品名称／型式番号		デロンギ シトラス・スクイーザー／KSM3000J
定 格	電 圧／周 波 数	交流100V 50／60Hz
	消 費 電 力	25W
	定 格 時 間	1分
	定 格 容 量	180ml
外 形 寸 法		幅200×奥行285×高さ350mm／1.8kg
電源コードの長さ		1.8m

各 部	材 質
カバー／コーン	AS樹脂
フィルタートレイ	ステンレス+ABS樹脂
ジュース受け	ABS樹脂
本体	アルミ合金

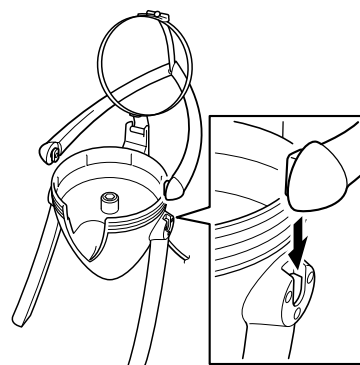
本体の組み立て方法

1

ジュースレバーの両端を本体左右にあるガイドの溝に合わせて挿入します。レバーを上下させてジュースレバーが正しく取り付けられているかを確認してください。

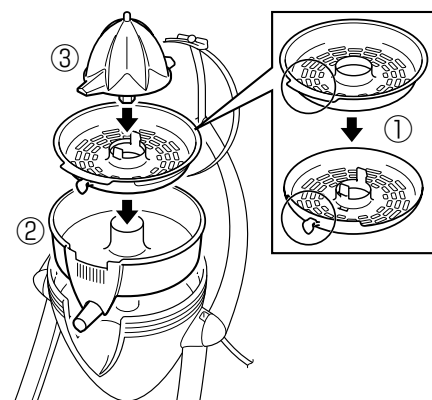
⚠️ ご注意

必ずプラグを抜いた状態で作業を行ってください。
けがをする危険があります。



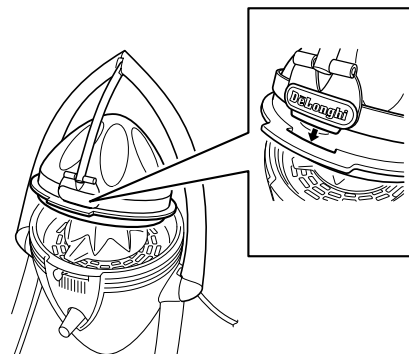
2

下部フィルタートレイに上部フィルタートレイを取り付けます。果肉量調整セクターと上部フィルタートレイの出ている部分が重なるようにして、下部フィルタートレイの中央のつめ部分に上部フィルタートレイを奥までしっかり入れてください (①)。ジュース受け (②) とともに本体に取り付けます。果肉量調整セクターが本体正面のくぼみに正しく取り付けられているかを確認してください。最後にコーン (しぼり器) を回転軸にはめ込みます (③)。



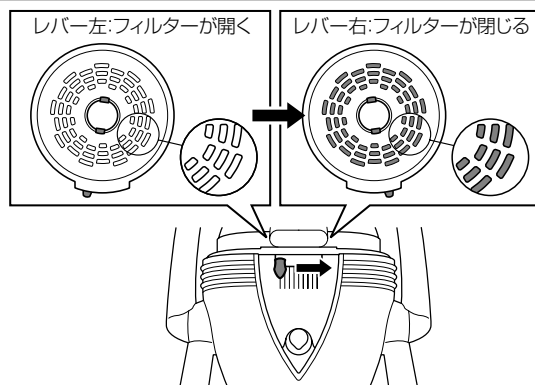
3

カバーをカバーリングに挿入し、取り付けます。リング正面のタブがカバーの穴にきちんとはまっていることを確認してください。これで準備は完了です。



果肉量調整セクターの使い方

果肉量調整セクターを利用すると、フィルター穴の大きさを調整してジュースのなかの果肉をお好みの量に変更できます。果肉を少なくするには、果肉量調整セクターを右にスライドさせます。最右に移動すると、フィルター穴が完全に閉じ、果肉は入りません。逆に、果肉量を増やしたい場合は、果肉量調整セクターを左にスライドさせます。



ご使用方法

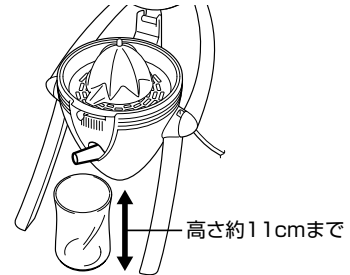
はじめてお使いになるときはあらかじめ各部品（コーン、フィルタートレイ、ジュース受け、抽出口、カバーなど）を洗って乾かしてください。

1 グラスなどを所定の位置に置く

ジュースを受けるグラスなどを抽出口の下に置きます。

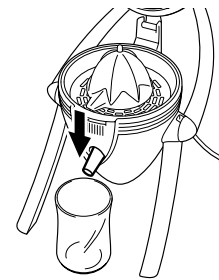
⚠️ ご注意

ドリップストッパーを上げたままジュースをしぼると、約180ml以上であふれますので、ご注意ください。



2 ドリップストッパーを下げる

ドリップストッパーを押し下げます。

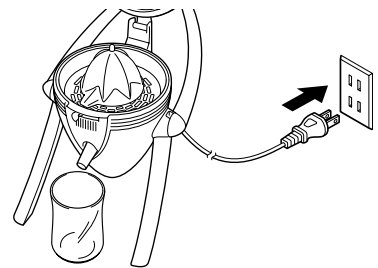


3 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠️ ご注意

濡れた手などで電源プラグを差し込むと、感電のおそれがあります。十分にご注意ください。



4 かんきつ類の果物をコーンに置く

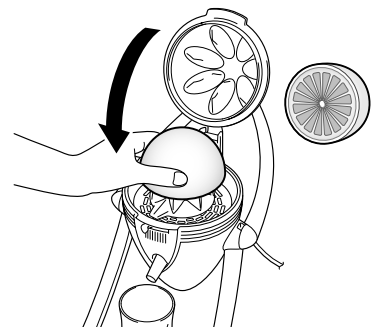
横半分に切ったかんきつ類の果物をコーンに乗せ、手で支えながらジュースレバーを押し下げます。

👩‍🍳 ヒント

180mlのジュースを絞る目安は、次のとおりです。

グレープフルーツ：約1個

オレンジ：1個半～2個

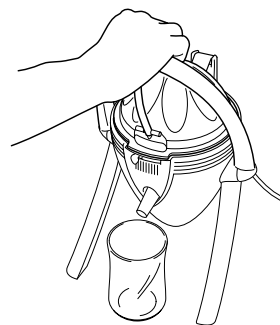


5 ジュースレバーを下げてジュースをしぼる

断続的にジュースレバーを押し付けるとモーターが回転方向を反転させながらジュースを効率的にしぼります。

👩‍🍳 ヒント

果肉量調整セレクターを調整することで、ジュースに含まれる果肉量を調整できます（4ページ参照）。



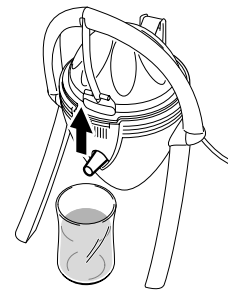
6

ドリップストッパーを上げる

ジュースをしぼり終わったら、液だれを防ぐためにドリップストッパーを上げてください。

⚠️ ご注意

- ・使用を終えたときには、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・定格時間の1分以上継続して使用しないでください。



お手入れのしかた

ご使用後は、以下の手順でお手入れをしてください。

⚠️ ご注意

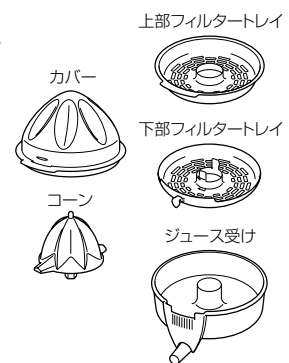
お手入れの前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金たわしなどは使用しないでください。

●水洗いできます

- ・コーン、フィルタートレイ、ジュース受けなどを上に引き上げながら取り外してください（4ページの「本体の組み立て方法」の手順を参考に逆の手順で取り外してください）。
- ・しぼりカスを取り除き、柔らかいスポンジと台所用洗剤で水洗いします。

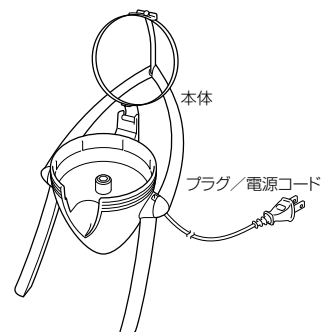
⚠️ ご注意

- ・カスが乾燥してこびりつくのを防ぐために、ご使用後はただちに各パーツを取り外し、洗浄してください。
- ・食器洗い機は使用しないでください。



●水洗いできません

- ・外側の汚れは、柔らかい布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭き取ります。
- ・落ちにくい汚れは、お湯で薄めた台所用洗剤を布に含ませ、固く絞ってから拭き取ります。その後、二度拭きをして洗剤を残さないようにしてください。
- ・電源コードやプラグは、柔らかい布で乾拭きしてください。



この製品はJ-Mossグリーンマーク対応製品です。

J-Mossとは、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示」を規定したJIS規格（JIS C 0950）です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



J-Moss グリーンマーク

アフターサービスについて

1)使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

〈以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

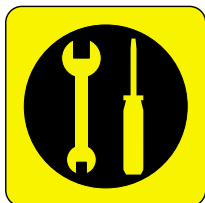
- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体の機器内部に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

3)保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め：長い期間で使いいただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



ご購入年月日: 年 月 日

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

● コールセンター

修理について……………Tel. 0120-804-280
Tel. 0120-692-885 / Fax. 045-450-3291
お問い合わせ……………Tel. 0120-064-300
Tel. 0120-692-880

- 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル
- 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

ホームページでのお問い合わせ (URL) **<http://www.delonghi.co.jp>**

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載! デロンギフォーラム無料会員募集中!

詳しくは **<http://www.delonghiforum.jp>**

De'Longhi デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321 (代)

1771002IDL/09.07



再生紙を使用しています。